

IBM Tivoli OMEGAMON XE for Messaging

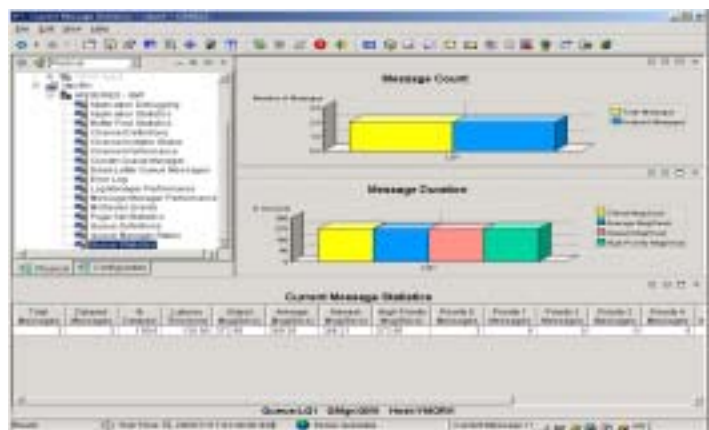


IBM Tivoli OMEGAMON XE for Messaging は、基幹業務アプリケーションおよびビジネス統合システムの
アベイラビリティとパフォーマンスの向上を支援します。共通する問題を特定し、事前定義された業界ベ
スト・プラクティスを使用して是正処置を自動化できるだけでなく、主要な WebSphere MQ および
WebSphere Message Broker のメトリックスもモニターします。複合アプリケーション管理の課題について
詳しくは、[META アナリスト・レポート](#)を参照してください。

Tivoli OMEGAMON XE for Messaging は、リアルタイム・データおよび履歴データの分析によってアベイ
ラビリティとキャパシティをモニターすることでサービス・レベル管理の向上を支援します。複雑な
WebSphere 環境のオートディスカバリーやモニターなど、すぐに使用できる機能により、IT 担当者の生産
性を向上させ、管理コストを削減できます。**Tivoli OMEGAMON XE for Messaging の特徴は次のとおり
です。**

- WebSphere MQ、Message Broker、MQ Integrator、および InterChange Server のアベイラビ
ティを向上します。
 - 共通する問題を特定
し、是正措置を自動化
する
 - 複雑な環境のオートデ
ィスカバリーおよび迅
速なモニター
 - 問題を掘り下げて突き
止め、根本的な原因を
識別し、ボトルネックや
障害を解決する
- 問題を事前に防止します。
 - WebSphere MQ インフラストラクチャーを正しく構成して展開する
 - 問題を検出および修復したり、緊急の懸案事項がある場合はアラートを発行する
 - リアルタイム・データおよびヒストリカル・データの分析で主要な MQ および Message
Broker のメトリックスを使用できるようにする

Tivoli OMEGAMON XE for Messaging on z/OS



- 単一のツールで管理を簡素化します。
 - 分散環境およびメインフレーム環境で WebSphere MQ、Message Broker、MQ Integrator、および InterChange Server を管理する
 - ビジネス・ビュー、プラットフォーム・ビュー、リソース・ビューを含む、ユーザー・カスタマイズされた表示

Tivoli OMEGAMON XE for Messaging は、WebSphere MQ、 WebSphere Message Broker、 WebSphere MQ Integrator、および WebSphere InterChange Server の環境を事前の対策を講じてモニターおよび管理します。これらの複雑な環境の構成を中央で一括管理することで、全社的な WebSphere MQ 構成の自動展開を定義、検証、およびスケジュールできます。

製品ハイライト:

- WebSphere MQ、WebSphere Message Broker、WebSphere MQ Integrator、および WebSphere InterChange Server のモニターのベスト・プラクティス
- 自動検出された MQ コンポーネントの迅速なモニター
- Web 対応のリアルタイムのアベイラビリティおよびパフォーマンスのレポート
- WebSphere MQ および WebSphere Interchange Server のパフォーマンス・メトリックスの拡張セット

Tivoli OMEGAMON XE for Messaging の詳細については、[導入についての Redbook](#) を参照してください。Gartner, Inc. の J2EE Application Server Management Magic Quadrant で IBM は、Leaders Quadrant に位置付けられています。Tivoli OMEGAMON XE for Messaging は、効果的なアプリケーション管理の 3 つの面 (トランザクションとサービス、アプリケーション、およびリソースのモニター) すべてに対応する [Tivoli ソリューション](#) の一部です。Tivoli ソリューションは、運用と開発を直接リンクすることによって運用、サポート、開発全体の IT ライフ・サイクル・コストを削減でき、IT の管理 (Govern IT)、機能品質の確保 (Ensure Functional Quality)、システム・パフォーマンスの確保 (Ensure System Performance)、および展開の促進 (Accelerate Deployment) のソリューション・シナリオを含むより大きな IBM [IT ライフ・サイクル管理](#) ソリューションの一部となります。また、ベスト・プラクティスのフレームワークに基づいたサービスの提供を支援することを目的とする IBM の [IT サービス管理](#) ソリューションの不可欠な部分でもあります。

機能、説明、利点		
機能	説明	利点
WebSphere Message Broker および MQ Integrator の完全サポート (ブローカーの状況、定義、統計情報を分かりやすい表やグラフを使って表示)	現在のメッセージ率、現在の平均メッセージ時間、サブフロー統計など、統計情報を提供する定義済みワークスペースを使用して幅広くモニターします	所定のブローカー、メッセージ・フロー、またはサブフローのパフォーマンスが向上します
サーバー、コネクタ、およびコラボレーションのメトリクスによる、WebSphere InterChange Server 環境全体のパフォーマンスおよびアベイラビリティ情報の提供	サマリーから詳細まで掘り下げること、システム管理者がボトルネックや障害を迅速に探して特定し、解決できるようになります	主幹業務アプリケーションや時間の影響を受けるアプリケーションの中断を削減および短縮します
WebSphere MQ の構成のプロトタイプ、ピンギング、マネージメント、および管理の一元化	複雑な WebSphere MQ 環境の包括的なソリューションにより、問題のあるコンポーネントをドリルダウンできます	パフォーマンスとアベイラビリティの最大化を図り、IT 担当者の生産性を向上させます
ブラウザベースの統合インターフェースによる、単一の視点からのミドルウェア環境全体のブローカー・パフォーマンス・メトリクスの表示	チャートや表によるわかりやすいデータ表示で、単一の視点からパフォーマンスを追跡します	メッセージ環境コンポーネント全体でブローカーのパフォーマンスをより効率的に管理できるようにします
Situation Editor による、単純なしきい値だけでなく、複雑なしきい値や状況、およびアラートの簡単な定義	アラートの対象についての詳細な情報を可視化することで、管理および IT 要員の配置を簡素化します	専門的な知識と業界ベスト・プラクティスを利用することで、複雑なアラートの解決を改善します
共通する問題の解決にすぐに使用できるスクリプト	用意されているスクリプトを使って整合性のある問題管理を実現できるほか、テンプレートから新しいスクリプトを簡単に作成することもできます	繰り返し発生する問題や共通する問題を自動的に解決します
ユーザー選択可能なチャートやレポートを使用した重大なイベントや状態のビューを含むさまざまなワークスペースのカスタマイズおよび保管	個々のジョブ機能に合わせてカスタムなワークスペースを作成できます	ユーザーの役割に関連する情報を提供することで生産性を向上させます